

【見取りと評価の工夫】

目次

● 評価の意義	．．．．． 85
---------	----------

● 授業構想から評価までの流れ	．．．．． 86
-----------------	----------

● 見取りの方法	．．．．． 87
----------	----------

● 見取りの工夫	．．．．． 88
----------	----------

● 大きくくりなまとまりでの評価	．．．．． 90
------------------	----------

評価の意義



評価は何のために行うのですか。

児童生徒のよさを積極的に評価し、児童生徒が学習したことの意義や価値を実感できるようにするとともに、授業者自身が指導の改善に生かしていくために行います。道徳科も他教科と同じです。



■道徳科の評価

『学習指導要領』「第3章 特別の教科 道徳」第1には、次のように目標が示されています。

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己（人間として）の生き方についての考えを深める学習を通して、**道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度**を育てる。 ※（ ）は中学校

道徳科においては「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う」ために、**道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度**を育てます。

道徳科の評価とは児童生徒の道徳性を評価するものではありません。道徳性は目に見えない内面的資質であり、授業において道徳性が育ったかどうかは容易に判断できません。そのため、道徳科の授業では児童生徒の学習状況及び道徳性に係る成長の様子を評価します。

■評価の基本的な考え方

学習指導要領解説道徳編には、「評価の基本的な考え方」が示されています。以下の2つの視点から評価を行います。

1 一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか。

いろいろな人の考えを参考にしながら、自分の考えを深めているか、など。

2 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか。

教材の登場人物に自分を置き換えて考えたり、自分自身を振り返り自らの行動や考えを見直したりしているか、など。

2つの視点から、児童生徒のよさを認め、自分自身の授業改善につなげていきましょう。



指導と評価の一体化を意識して、児童生徒の学習状況を基に学習指導過程や指導方法を振り返り、**授業者自身の指導の改善**に生かすとともに、**児童生徒へのフィードバック**を行う。

考えを交流させる場を設定したら、色々な考えに気付かせることができた。次は、より自分事として考えられるような展開を考えよう。

授業力が向上する

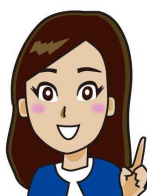
学習したことの意義や価値を実感できる

なるほど！そんな考え方もあるんだ…。もう少し考えてみたいなあ。



これまでの経験を振り返らせたら、改めて価値について考えさせることができた。

教師



私はこう考えるけど、友達の考えも聞いてみたいなあ。考えることって大切なんだね！

児童生徒



授業構想から評価までの流れ



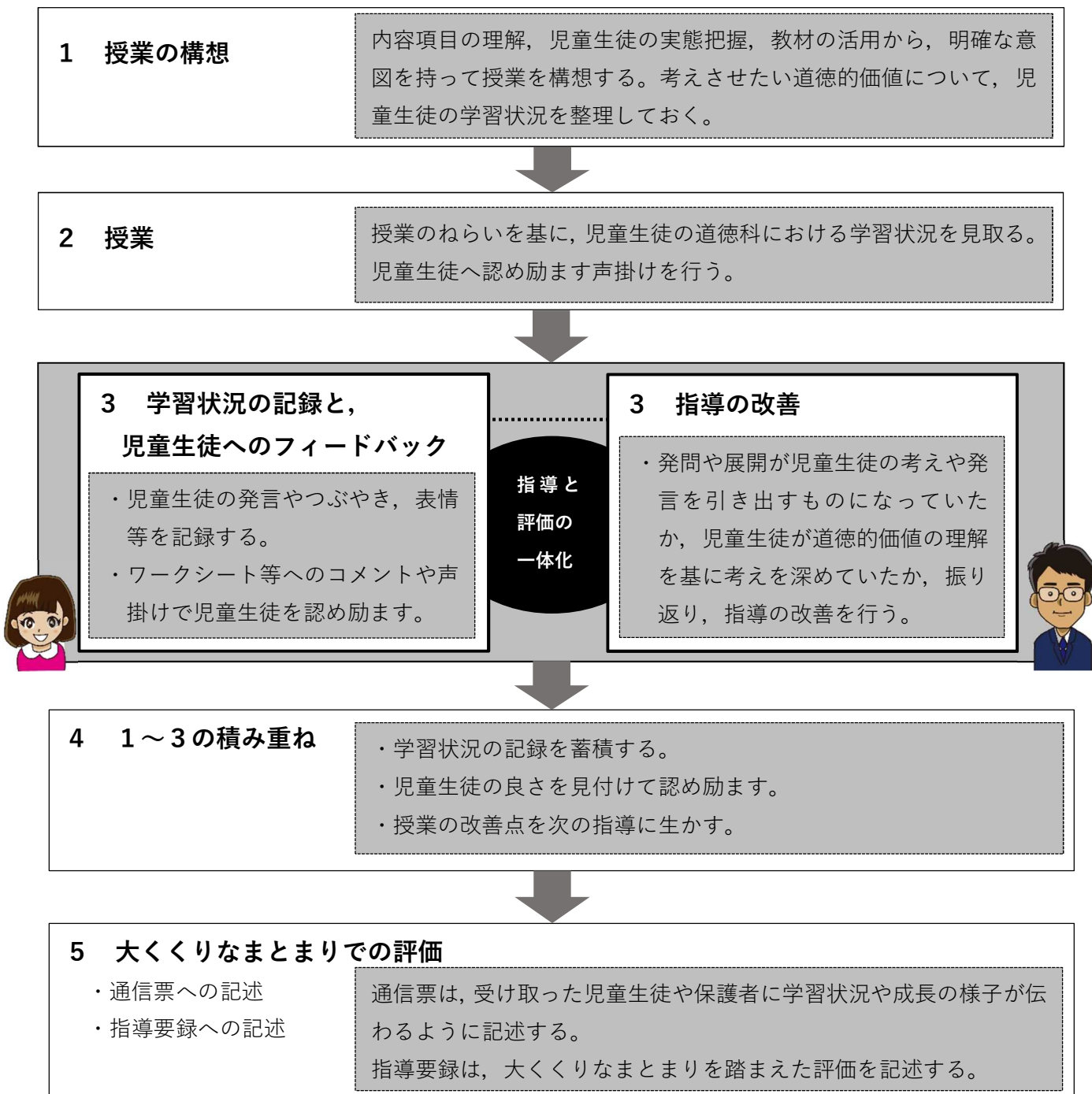
評価をするまでの流れがよく分かりません。授業で見取った学習状況を大きくくりなまとまりで評価するとはどのようなことですか。



評価までの流れのイメージが持てるように、学習状況を大きくくりなまとまりで評価する流れを紹介します。

※大きくくり…年間を学期で区切る等大まかな時間的なくくり。

■学習状況を大きくくりなまとまりで評価する流れ（例）



通信票などで，児童生徒や保護者に学習状況や成長の様子を的確に伝えるためには，毎回の授業の見取りの記録が大切だと気付きました。毎時間，授業後には，ワークシート等へのコメントや声掛けで，児童生徒を認め励ましています。また，指導の改善を意識して授業の振り返りを行っています。

見取りの方法



見取りの方法について教えてください。



見取りの方法については、大きく「ワークシートやノートなどの児童生徒が書いて残したもの」「児童生徒の発言や様子から教師が記録して残したもの」の2つに分けることができます。

■見取りの方法

見取りの方法の例として、以下のものが考えられますが、**児童生徒の実態等に合わせ、いくつかを組み合わせて**評価を行います。

▷児童生徒が書いて残したもの

ワークシート 道徳ノート 	授業で扱う道徳的価値について、児童生徒が自分の考えを書くもの。中心発問で考えさせたいことを書かせる、思考ツールを活用して多面的・多角的に考えさせる、終末場面で自己（人間として）の生き方について考えさせることなどを通して、児童生徒の考えやその変容を見取ることができる。児童生徒の考えの内容から授業改善にも生かすことができる。
事前アンケート 	授業前に授業で扱う道徳的価値等について、児童生徒がどのように捉えているかの実態を把握し、明確な意図を持って授業を構想することができる。また、授業の最後に事前アンケートと同じ発問をすることで考えの変容や深まりを見取ることができる。

ワークシートは毎時間の授業のねらいに応じて作成することができるので、ねらいに沿った授業展開ができます。そのため、児童生徒の考えが見取りやすいよさがあります。また、**道徳ノート（マス目、罫線のもの）**は、教師が記述項目（中心発問に対する考え、自己の生き方についての考え等の記述）のレイアウトを決めておくことで、児童生徒の考えの変容を見取りやすく、児童生徒にとっても振り返りをしやすいよさがあります。



▷児童生徒の発言や様子から教師が記録をして残したもの

座席表のメモ 	授業中に児童生徒の考えを分類し記号として記録に残したり、メモをしたりして記録に残しておくもの。発問に対する児童生徒の考えが分かる。ワークシートや道徳ノートと合わせて、考えの変容や深まりを見取ることができる。
板書の写真 	授業後（または授業中）に板書の写真を撮り、記録として残すもの。発問に対する児童生徒の考えが分かる。ワークシートや道徳ノートの記述と合わせて、考えの変容や深まりを見取ることができる。児童生徒の考えの内容から指導の改善にも生かすことができる。
道徳記録ノート （教師用） 	道徳の時間における児童生徒の学習状況を、ノートなどに記録をして残しておくもの。あらかじめ抽出した児童生徒や、特に成長が見られた児童生徒の発言や様子を記録に残しておく。児童生徒が書いたノートやワークシートの記述以外にも、発言、つぶやき、ペアやグループ学習での友達との関わり、役割演技等のパフォーマンス、うなずき、表情などを記録する。そうすることで、児童生徒の学習状況や成長の様子の記録が蓄積でき、大きくくりなまとまりでの評価につなげることができる。

※ は児童生徒の成長の様子が分かるもの、 は指導の改善に生かせるもの

見取りの工夫



見取りの方法をもっと詳しく知りたいです。

ワークシート、板書の写真、道徳記録ノートの例を紹介します。少し意識したり、工夫したりするだけで、児童生徒の変容がよく見取れるようになります。



見取りの工夫の実際

▷児童生徒が書いて残したものの「ワークシート」の例

月 日 第 回 道徳 「新しいプライド」

1年 組 番号

☆将来の仕事を考える時に、何を大切にしたいですか。

本当にやりたいと思える仕事。
給料（家族を守るのに十分）

1 主人公が車両清掃の仕事に誇りを持てるようになったのはなぜだろう。

2 「働く」ということについて、この話を通して、どのようなことを考えましたか。

3 「働くこと」について授業を通して考えたことを自分の将来のことをイメージしながらまとめてみよう。

☆将来の仕事を考える時に、何を大切にしたいですか。

お金とかではなく誇れる仕事。
やりがいのある仕事を選ぶのが一番大切。

<一面的な見方から

多面的・多角的な見方へ発展させている>

授業で扱う道徳的価値に関して、授業の始めと終わりに同じ発問を設定しました。友達と議論する中で、友達の考えも参考にしながら自分の考えを深めていることが分かります。

<道徳的価値の理解を

自分自身との関わりの中で深めている>

事前アンケートで児童生徒の実態を把握し、授業を構想しました。授業では登場人物に自分を投影して考え、自分自身の問題として振り返ることができました。

▷児童生徒が書いて残したものの「事前アンケート」の例

道徳く アンケート

3年 組 名前

1 家のお手つだいをするのは好きですか。(Oをつけてください)

とても好き 好き 少し好き 好きではない

2 それはなぜですか?

ほかにやりたいことがあるから、少しめんどくさい。

3 家のお手つだいをするとき、どんな気持ちでしごとをしていますか?

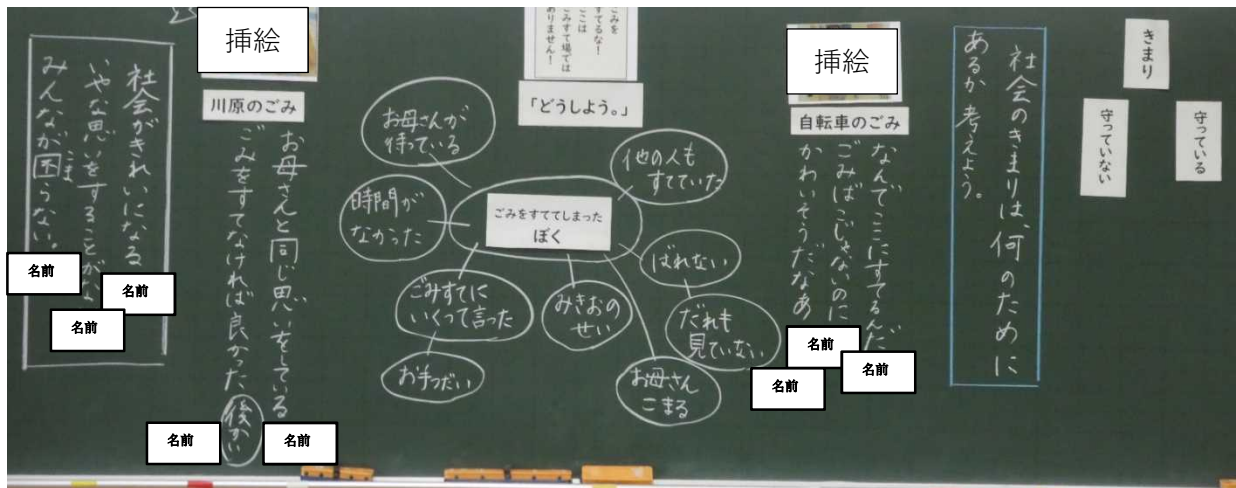
すぐにおわるけど、やりたい気持ちのときはあまりない。

月 日 () だい 回 どうとく
ごみステーション

はたらくときに大切な気持ちについて考えよう。

わたしがお手つだいをすると家ぞくのためになるので、これからはすすんでやってみようと思います。おじいさんみたいに、これからはみんなのためになるようにお手つだいをしてみようと思いました。

▷児童生徒の発言や様子から教師が記録をして残したものの「板書の写真」の例

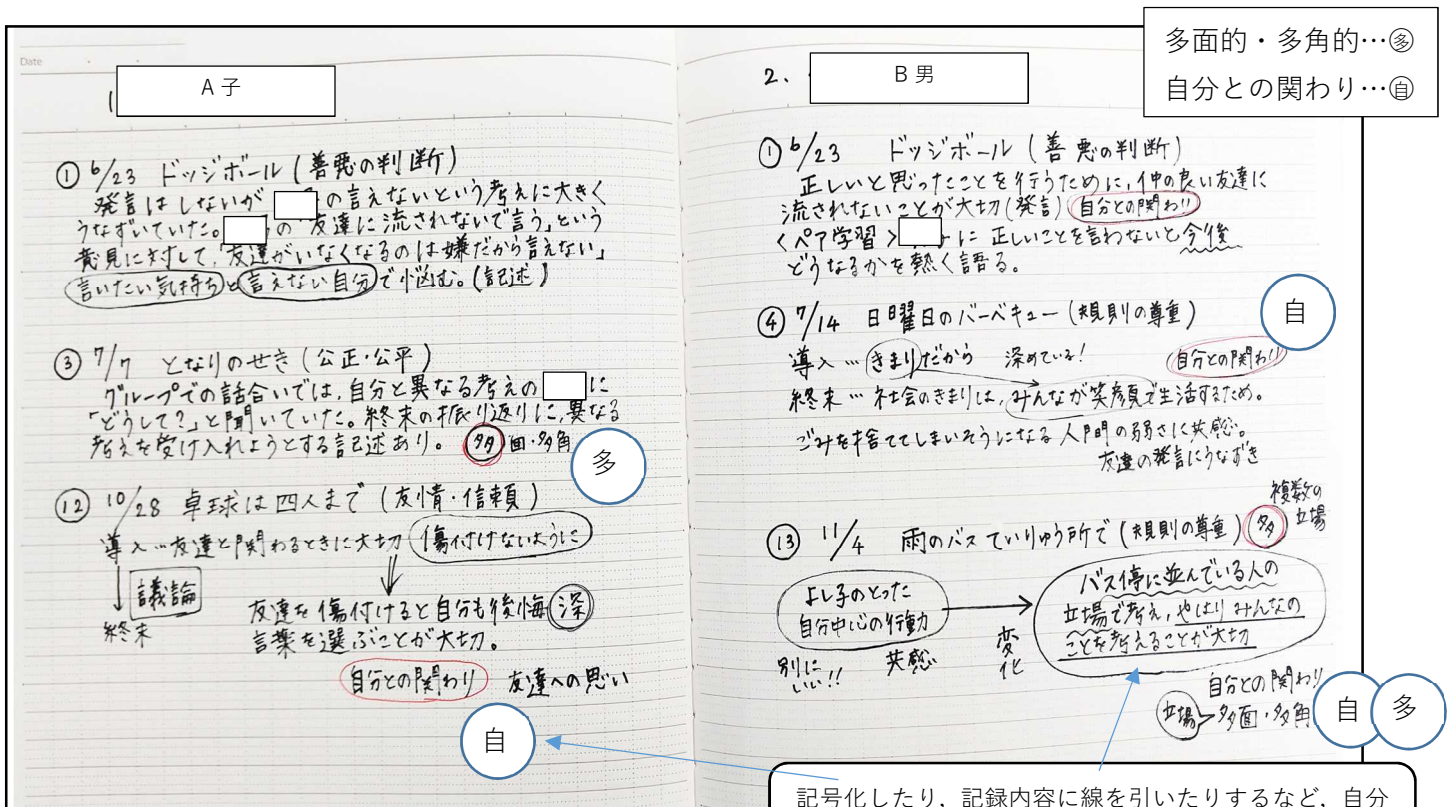


思考ツール「ウェビングマップ」を活用して、登場人物の心の迷いを可視化しました。児童生徒が出した考えから、発問は、児童生徒が多面的・多角的に考えることができる問いであったか、自分のこととして捉えることができる問いになっていたかなど、指導の意図に基づいて授業を振り返り、指導の改善に生かすことが大切です。

また、写真に発表者の名前を残しておくワークシートと合わせて考えの変容や深まりが分かります。特に書くことが苦手な児童生徒の考えを把握したいですね。



▷児童生徒の発言や様子から教師が記録をして残したものの「道徳記録ノート」の例



記号化したり、記録内容に線を引いたりするなど、自分なりに工夫をして効率的に記録することが大切です。

一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか、の2つの視点を重視し、記録に残すようにします。1時間の授業で全員分の記録を残すのは困難です。あらかじめ抽出した児童生徒や、特に成長が見られた児童生徒の発言や様子に絞って記録しましょう。



大きくくりなまとまりでの評価



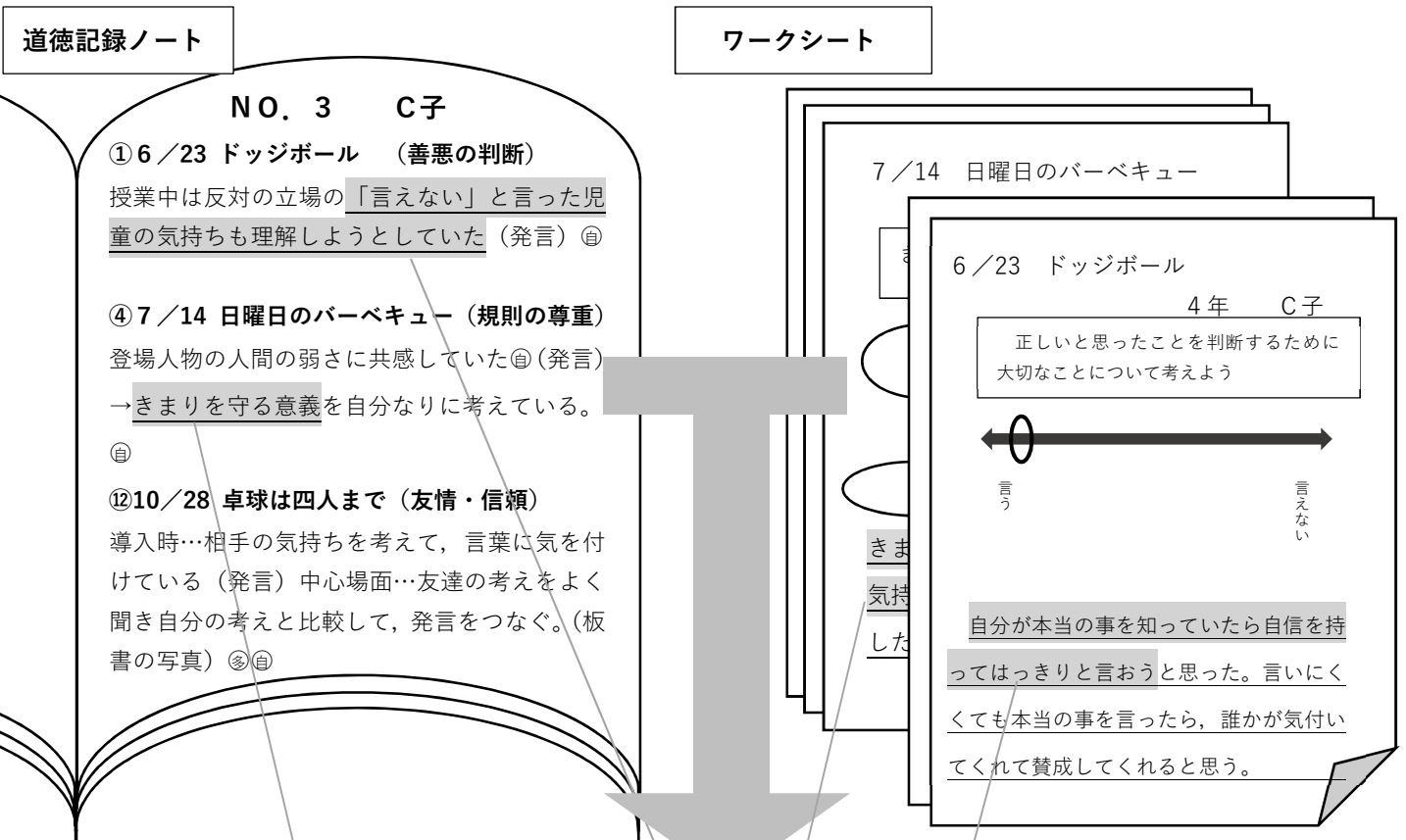
蓄積した学習状況の記録を基に、評価につなげるときに大切なことを教えてください。

授業の記録を残した道徳記録ノートや児童生徒が書いたワークシートを基に、児童生徒がいかに成長したかを積極的に認め励ます視点から評価を行うことが大切です。



■授業の記録を残した道徳記録ノートとワークシートから評価につなげる例

▷授業中、積極的に発言する児童



「一面的な見方から多面的・多角的な見方」へと発展させている通信票の記述の例

どの授業においても友達の話をよく聞き、自分の考えも発言していました。「ドッジボール」の学習では、自分と異なる立場の考えも理解しつつ、正しいことははっきり言った方が良いと、自分の考えを持ちました。

道徳的価値の理解を「自分自身との関わり」の中で深めている通信票の記述の例

教材の登場人物と自分を重ねながら学習に取り組み、自分にとって何が大切かを考えていました。きまりについての学習では、きまりの意義について自分やまわりの人たちが気持ちよく過ごすためにあると深く考えていました。

指導要録の記述の例

読み物教材の登場人物と自分を重ね、道徳的価値に関わる問題について主体的に考えていた。自分と異なる立場の考え方を理解しようとし、これからの自分の生活に生かそうとしていた。



話すことや書くことが苦手な児童生徒には、机間指導の際に聞き取りを行い、その場面で認め励ますようにしました。そうすることで、自信を持って発言できるようになった児童生徒もいます。授業後、忘れないうちに見取ったことを記録に残しておくことが大切だと感じました。

▷授業中、発言が少なく、書くことが苦手な児童

道徳記録ノート

ワークシート

NO. 4 D男

④7/14 日曜日のバーベキュー（規則の尊重）

声掛けをして、終末「社会のきまりはみんなで使うものだから大事にしよう」と記述し、みんなが笑顔でいられるようにと発言。㊦

⑩10/28 卓球は四人まで（友情・信頼）

導入時…友達がいる良かったのは友達に良いところをほめてもらったとき（発言）授業中は、教材の中の「しゅん」の気持ちになり、判断を誤った根拠を様々な視点から考えていた（発言）㊦

⑬11/4 雨のバスでいりゅう所で（規則の尊重）

友達の話聞き、みんなのことを考えるといいんじゃない？とつぶやく。㊦

前時まで、発言や記述がほとんど見られなかったので、授業中に聞き取りを行い認め励ましたところ、発言につながった。

11/4 雨のバスでいりゅう所で

10/28 卓球は四人まで

4年 D男

友達と関わる時に大切なことについて考えよう。

とおるに悪いことしたな

とおるは手伝ってくれたのに…

楽しめなかった「しゅん」くん

言わなければ良かった

後かい

友達と関わる時は後かいしないようにしたい。

「一面的な見方から多面的・多角的な見方」へと発展させている通信票の記述の例

授業中は自分が教材の登場人物の立場ならどんな気持ちになるのかを考えながら発言するようになりました。「卓球は四人まで」の学習では、友達と関わる時は、相手を傷付けないように、話し方に気を付けようと考えていました。

道徳的価値の理解を「自分自身との関わり」の中で深めている通信票の記述の例

「きまり」についての学習では、教材の内容と自分の生活を照らし合わせながら考えていました。「日曜日のバーベキュー」の学習では、きまりはみんなが笑顔で気持ちよく過ごすためにあると考えていました。

指導要録の記述の例

読み物教材の登場人物に自分を置き換えて考えていた。道徳的価値を理解することの難しさを感じた上で、大切なことを考えようとしていた。